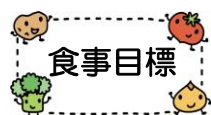




令和8年10月1日
常念寺保育園

さつまいもやかぼちゃ、柿、きのこなど、おいしい食材が豊富な季節になりました。8月になかよしゾーンで行った『おやさいびんご』を通して、さまざまな食材に興味を持ってくれたこどもたち。今月は畑の『さつまいもの収穫』を予定しています。どのくらい収穫できるか楽しみです。そして、食育コーナーの掲示物はいも類を探す『おやさいみっけ』！ぜひ、親子で全部見つけられるかお試しください(*^-^*)



*** 自然の実りに感謝して楽しく食べましょう！**

自然の恵みに感謝する気持ちを持ち、旬の食材に触れ、美味しくいただきます！

「おやさいびんご」のその後...

おやさいボードの掲示は終了したのですが、まつくみでは、「まだびんごが埋まってないから続けたい！」と声がありました。給食を食べた後に、自分たちが何の野菜が入っていたかを思い出しながら、ボードに野菜マグネットを移動し、給食の先生に確認している姿が見られました!!



8月になかよしゾーンで行った『おやさいびんご』



びんごを通して、「ほうれんそう」「小松菜」「チンゲンサイ」の違いがわかりづらいと知り、3つの野菜を準備し、「今日の給食に小松菜を使うから給食室に持って来てね」と、クイズ形式で実物に触れながらそれぞれの野菜の違いを確認できました。

← 答え合わせとしてクラスに掲示

お悩み相談Q&A

Q、保育園では野菜を食べるのに、家では食べてくれません。

A、子どもが保育園で食べられるのには、様々な要素があると思います。

- お友だちと一緒に食べる雰囲気
お友だちが食べる姿を見ることができるのも、食事が進む大きなポイント
- 保育園の食事環境(みんなと同じ食器、同じメニュー、お腹が空いているなど)
「周りのお友だちが美味しそうに食べていたから、自分も食べられるようになりたい」と苦手なものに挑戦する姿も見られます。
- 家では、甘えられる安心感があるのだと思います。無理はせず、同じ料理と一緒に食べて「いいにおい」「おいしいね」など共感するところから食欲につなげていきたいですね。



食事の様子 「すみれくみ」

自分で食べたい！とスプーンを使って食べているすみれくみさん。「あつまれして～」と最後までキレイに食べようとしていますよ✨
見た目ではイヤなものでも、自ら食べてみよう！と挑戦する姿が多くみられています♡

